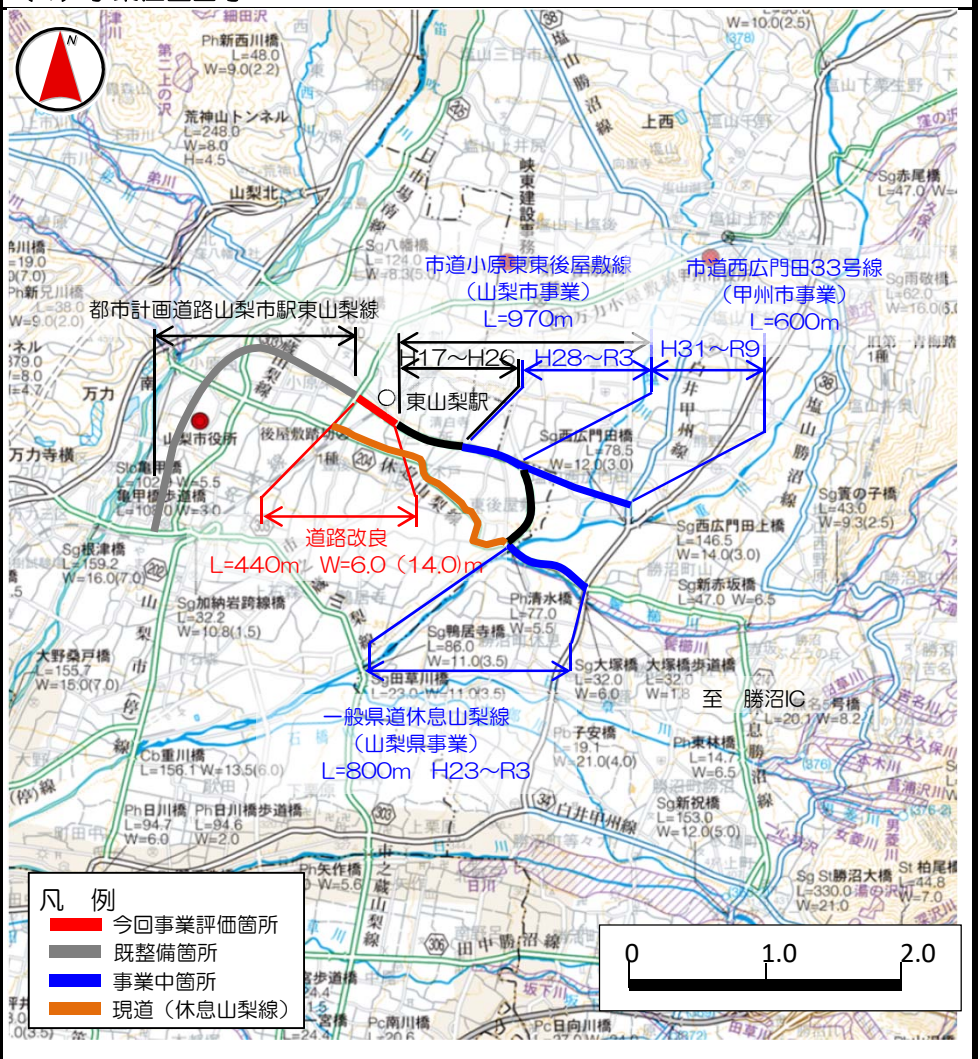


1. 事業説明シート

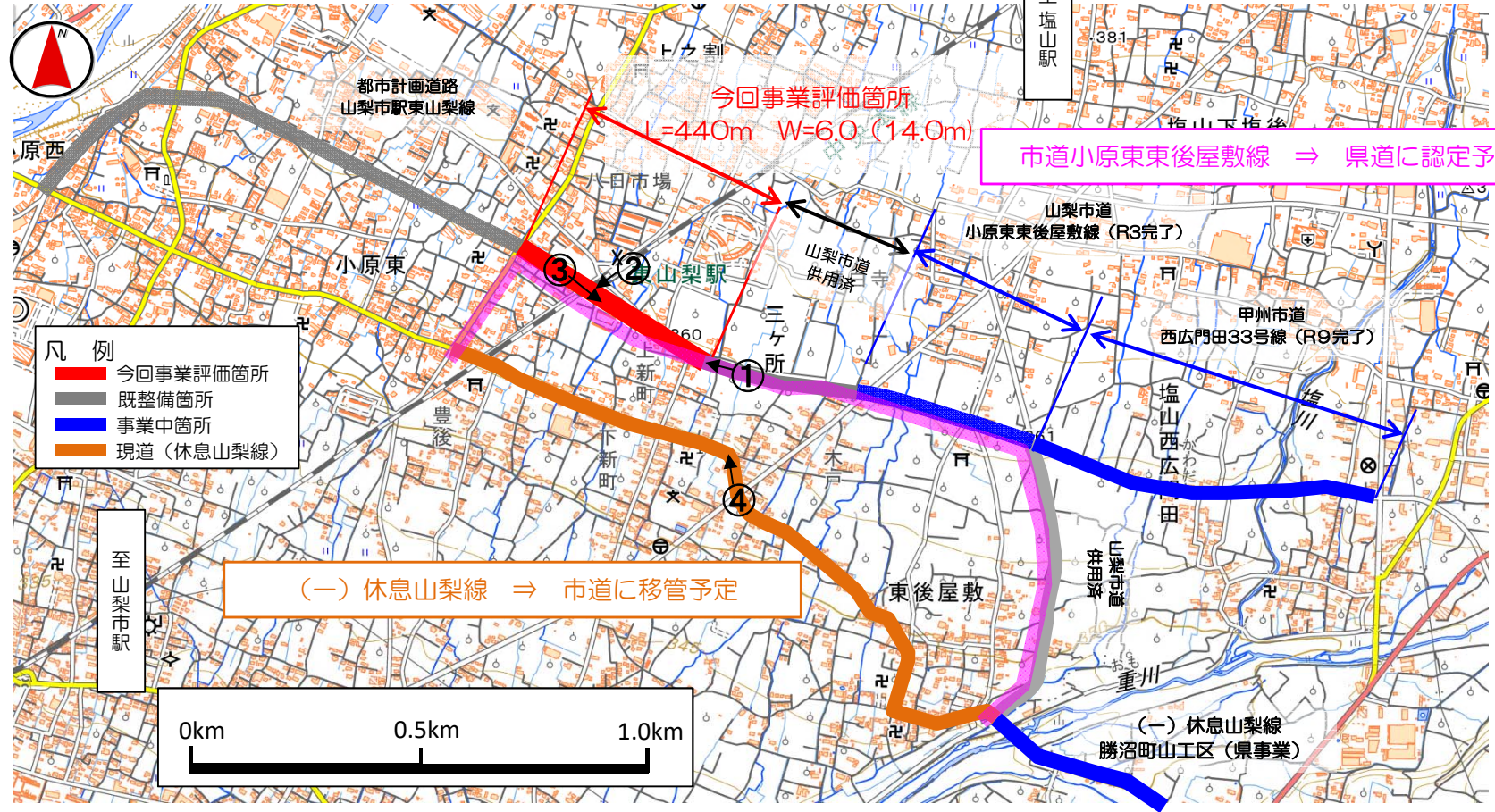
事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	山梨市小原東	地区名	(一) 休息山梨線 (東山梨跨線橋)	事業主体	山梨県																				
(1) 事業の概要				(3) 中・長期計画等の位置付け																							
<p>①課題・背景</p> <p>本路線は、山梨市中心部と甲州市中心部、並びに中央自動車道勝沼インターチェンジを結ぶ主要幹線であり、物流や観光ルートとして重要な役割を担う路線であるが、山梨市東後屋敷～終点間は、幅員狭小で歩道も無い状況である。早急に交通の円滑化や安全性向上を図る必要があるが、人家が連担しており拡幅困難な状況となっている。</p> <p>一方、現在山梨市が、当該区間に並行する市道小原東東後屋敷線を整備中であり、令和3年度には跨線部を除く区間の完成が見込まれている。本事業は、この改良済み市道と狭隘な県道を交換し、跨線部を整備することにより、県道の幹線道路としての機能向上を図るものである。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 道路改良率：14.7% (R2道路現況表) < 64.0%未済※ 混雑時走行速度：25.2km/h (R2実測) < 30km/h以下※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保 歩行者・自転車交通量 221人台/12h (R2実測値) > 93人台/12h以上※ 自動車交通量 2,530台/12h (H27平均) < 3,428台/12h (平日) 以上※ 小学校からの距離 0.3km < 概ね1km以内※ 現況の歩道幅員 0m < 1.4m未済※ ※評価基準値</p> <p>□副次効果 ○生活環境の向上 (バリアフリー化の促進)</p> <p>③目標達成の方法</p> <p>L=440mについて跨線橋等を整備 車道幅員L=5.5m ⇒ 6.0m、歩道幅員L= 0m ⇒ 4.6m</p>				<p>・山梨県総合計画 (令和元年12月)</p> <p>・山梨県強靱化計画 (令和2年3月)</p> <p>・山梨県社会資本整備重点計画—第四次— (令和3年3月)</p>																							
(2) 整備内容				<p>(4) 事業位置図等</p>  <p>道路改良 L=440m W=6.0 (14.0)m</p> <p>市道小原東東後屋敷線 (山梨市事業) L=970m</p> <p>市道西広門田33号線 (甲州市事業) L=600m</p> <p>一般県道休息山梨線 (山梨県事業) L=800m H23~R3</p> <p>至 勝沼IC</p> <p>凡例 ■ 今回事業評価箇所 ■ 既整備箇所 ■ 事業中箇所 ■ 現道 (休息山梨線)</p>																							
<p>①整備内容 道路改良L=440m W=6.0 (14.0) m</p> <p>②着手年度 令和3年度 ③完成見込年度 令和10年度</p> <p>④総事業費 約3,000百万円 (国費1,605百万円(5.35/10)県費1,395百万円(4.65/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>令和3~4年度</td> <td>予備・詳細設計、用地測量</td> <td>100 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5~7年度</td> <td>用地買収</td> <td>400 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8~10年度</td> <td>道路改良工事、橋梁工事</td> <td>2,500 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではありません。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <table border="1"> <tr> <td>(一般県道休息山梨線) (山梨県事業)</td> <td>(市道西広門田33号線) (甲州市事業)</td> </tr> <tr> <td>・延長・幅員：L= 800m W=6.0 (10.0) m</td> <td>・延長・幅員：L= 600m W=6.0 (13.0) m</td> </tr> <tr> <td>・期間：H23~R3</td> <td>・期間：H31~R9</td> </tr> <tr> <td>・事業費：約8億円</td> <td>・事業費：約11億円</td> </tr> </table> <p>(市道小原東東後屋敷線) (山梨市事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>・延長・幅員：L=970m W=6.0 (16.0) m</td> </tr> <tr> <td>・期間：H17~R3</td> </tr> <tr> <td>・事業費：約13億円</td> </tr> </table>				令和3~4年度	予備・詳細設計、用地測量	100 百万円	令和5~7年度	用地買収	400 百万円	令和8~10年度	道路改良工事、橋梁工事	2,500 百万円	(一般県道休息山梨線) (山梨県事業)	(市道西広門田33号線) (甲州市事業)	・延長・幅員：L= 800m W=6.0 (10.0) m	・延長・幅員：L= 600m W=6.0 (13.0) m	・期間：H23~R3	・期間：H31~R9	・事業費：約8億円	・事業費：約11億円	・延長・幅員：L=970m W=6.0 (16.0) m	・期間：H17~R3	・事業費：約13億円				
令和3~4年度	予備・詳細設計、用地測量	100 百万円																									
令和5~7年度	用地買収	400 百万円																									
令和8~10年度	道路改良工事、橋梁工事	2,500 百万円																									
(一般県道休息山梨線) (山梨県事業)	(市道西広門田33号線) (甲州市事業)																										
・延長・幅員：L= 800m W=6.0 (10.0) m	・延長・幅員：L= 600m W=6.0 (13.0) m																										
・期間：H23~R3	・期間：H31~R9																										
・事業費：約8億円	・事業費：約11億円																										
・延長・幅員：L=970m W=6.0 (16.0) m																											
・期間：H17~R3																											
・事業費：約13億円																											

2.評価シート

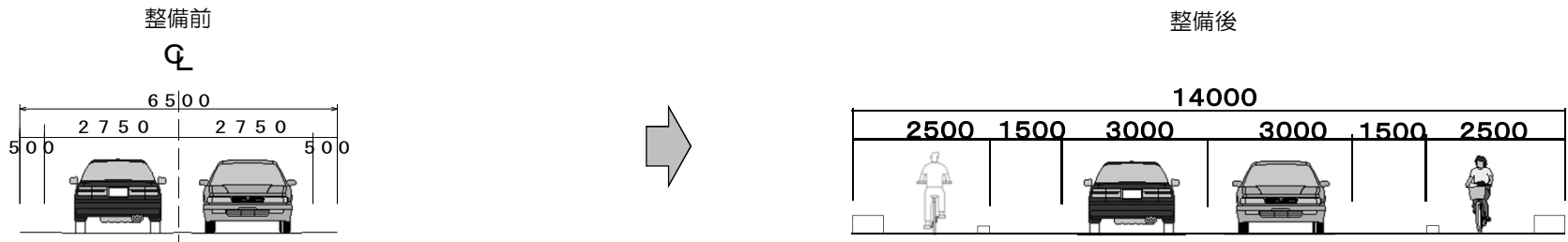
<p>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>(理由)</p> <p>本路線は、山梨市中心部と甲州市中心部、並びに中央自動車道勝沼ICを結ぶ幹線道路であり、社会的受益は大きく極めて公共性が高い。</p>	<p>(5) 整備手法の有効性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>(理由)</p> <p>当該路線は山梨市と甲州市を結ぶ幹線道路であり、交通ネットワーク上、重要な役割を果たしているが、一般県道休息山梨線の現道は歩道もなく幅員が狭隘であるが、沿線には民家が連担しており、拡幅等の整備が困難な状況である。そのため、現在整備を進めている山梨市道を整備し、県管理とすることで交通の転換を図り、交通ネットワークの強化を行うことが最適な手法である。</p>																																													
<p>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべき事業か) <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>(理由)</p> <p>県道移管となる道路の改築事業であり、道路法第15条により、県が行うべき事業である。</p>	<p><input type="checkbox"/> 他の整備手法の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>(状況)</p>																																													
<p>(3) 経済効率性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>(理由)</p> <table border="1" data-bbox="174 518 1169 778"> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,000</td> <td>百万円</td> <td>工期</td> <td>R3~R10</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>2,245</td> <td>百万円</td> <td>便益</td> <td>2,751</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>2,221</td> <td>百万円</td> <td>走行時間短縮</td> <td>2,145</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>24</td> <td>百万円</td> <td>走行費用減少</td> <td>211</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少</td> <td>41</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td>354</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td colspan="5"></td> <td>1.2</td> </tr> </table> <p>※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益</p> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>	総事業費	3,000	百万円	工期	R3~R10	基準年	R3	経済効率性	費用	2,245	百万円	便益	2,751	百万円	建設費	2,221	百万円	走行時間短縮	2,145	百万円	維持管理費	24	百万円	走行費用減少	211	百万円				交通事故減少	41	百万円				その他※	354	百万円	B/C						1.2	<p>(6) 環境負荷等への配慮 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>(理由)</p> <p>本事業箇所は、JR本線及び都計道山梨市駅東山梨線の事業区域に隣接した市街化された区域であり、自然環境への影響は少ない。また、旅行速度の向上、旅行時間の縮減により、大気汚染等の影響は少ない。</p>
総事業費	3,000	百万円	工期	R3~R10	基準年	R3																																								
経済効率性	費用	2,245	百万円	便益	2,751	百万円																																								
	建設費	2,221	百万円	走行時間短縮	2,145	百万円																																								
	維持管理費	24	百万円	走行費用減少	211	百万円																																								
				交通事故減少	41	百万円																																								
				その他※	354	百万円																																								
B/C						1.2																																								
<p>(4) 事業実施・規模の妥当性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>(理由)</p> <p>本路線は整備済みである都計道山梨市駅東山梨線から甲州市において整備中の休息山梨線勝沼町山工区を結ぶ幹線道路であり、山梨市により整備中の市道小原東東後屋敷線の工事進捗に合わせて整備する。</p>	<p>(7) 事業計画の熟度 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>(理由)</p> <p>地元において、周辺整備における協議会が複数回開催されるとともに、想定される地権者を含めた要望、同意書が作成されており、地元の熟度は高い。</p>																																													
<p><input type="checkbox"/> 同等施設等 (計画を含む) の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>(状況)</p>	<p>《総合評価》 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>																																													
<p><input type="checkbox"/> 必要整備内容とその根拠</p> <p>(状況)</p> <p>区間 : 先行整備済み区間である都計道山梨市駅東山梨線から勝沼町山工区を結ぶ最小区間とした。</p> <p>道路構造 : 道路規格は山梨県県道の構造基準を定める条例による。</p>	<p>7項目全て妥当と評価されていることから実施が妥当と判断する。</p>																																													

3. 添付資料シート (1)

【平面図】



【標準横断面図】



3. 添付資料シート (2)

【写真①】



【写真②】 跨線橋イメージ



【写真③】



【写真④】

